

モニタリング結果報告書  
(令和6年度)

1. 施設概要

施設名	秦野戸川公園	山岳スポーツセンター
所在地	秦野市堀山下・戸川・横野	秦野市戸川1392
サイトURL	<a href="https://www.kanagawa-park.or.jp/hadanotokawa/">https://www.kanagawa-park.or.jp/hadanotokawa/</a>	<a href="https://www.kanagawa-park.or.jp/sangaku-sc/">https://www.kanagawa-park.or.jp/sangaku-sc/</a>
根拠条例	神奈川県都市公園条例	神奈川県立山岳スポーツセンター条例
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（平成9年7月）	県民に登山に関する知識の取得、技術の向上及びレクリエーションの場を提供し、もって県民のスポーツの振興に寄与するため（平成9年7月）
指定管理者名	神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体	
指定期間	R4.4.1～R9.3.31 (2022年) (2027年)	
施設所管課	都市公園課 (平塚土木事務所)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>(一体としてのコメント)</p> <p>アウトドア・アクティビティを手軽に楽しむことができる当公園は、令和4年4月に公園直近に位置する新東名高速道路の供用開始を受け、さらなる広域利用が見込まれる公園であることから、県民をはじめとする多くの利用者が、より魅力的なオープンスペースを享受し、地域の魅力向上に寄与できるよう、より良い公園利用サービスの提供に取り組んでいくことが望ましい。</p> <p>■秦野戸川公園について</p> <p>利用状況の評価はA、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はAとした。事業計画に基づき、適切に業務が実施されており、継続が望まれる。</p> <p>■山岳スポーツセンターについて</p> <p>提案書に基づいた指定管理業務を着実に実施し、体験クライミングの開催や自主事業を組み合わせることで利用者サービスの向上に努めている。リードクライミングウォール設備工事（R6.7.1～R7.2.28）によりクライミングウォールを利用休止したことにより、リードクライミング教室や大会、部活動等での利用を中止または実施回数を減らした。利用制限の中にあっても、山の日イベントでのトラバース壁を利用した新規企画の実施、昨年に続くスピードクライミング競技会の開催やパラクライミングジャパンシリーズ第2戦の開催などにより、山岳スポーツ振興に資するとともに、スポーツレクリエーションの場として高い利用者満足度に繋げることができた。</p> <p>よって、工事による利用休止を反映して利用状況をB評価、利用者満足度をS評価、人件費の高騰などの支出の大幅な増加による収支状況の悪化を受けて収支状況をC評価とし、令和6年度の3項目評価はB評価とした。</p> <p>施設運営については、初心者向けの体験クライミング等の企画の更なる充実や各種学校・団体等への広報活動及び山岳スポーツセンターでの宿泊利用向けPRを積極的に行うことにより、利用者の裾野の拡大などの取組に努めてもらいたい。</p> <p>また、施設の魅力の更なる向上と安全な施設管理を踏まえつつ、収支状況の改善を図っていただきたい。</p>

<各項目の詳細説明>					
■秦野戸川公園について					
◆管理運営等の状況 「丹沢の花と自然に親しむアウトドアレクリエーションパーク～スポーツと観光のさらなる魅力アップへ～」を総合的な管理運営方針として事業を実施した。地域を代表する花修景地として、年間を通して様々な花が楽しめる公園づくりや、地域と連携しながら「秦野戸川公園まつり」等のイベントを開催し、公園の魅力を発信するとともに、地域の活性化にも貢献していた。					
◆利用状況 利用者数が目標達成率103.5%となったためA評価となった。対前年度比では、新型コロナウイルス感染症の5類移行後1年が経過し、コロナ禍前のチューリップフェアや公園まつりなどイベント等の実施に戻り、100.9%となった。					
◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が99.4%となったためS評価となった。					
◆収支状況 人件費の高騰や、県のクーリングスポットに指定されたことで、エアコン使用料が増えたことに伴い、電気代の支出増が生じたが、駐車場収入の増5,918千円などあって、全体収支比率は101.19%となったため、A評価となった。					
◆苦情・要望等 なし。					
◆事故・不祥事等 指定管理者に起因する事故・不祥事はなかった。					
◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。					
◆その他 令和6年度の3項目評価についてはA評価とした。昨年度よりも利用者は増えたが、既存イベントの充実や新たなイベントの実施など、魅力ある公園づくりを進めて更なる利用者の拡大に努めてもらいたい。					
■山岳スポーツセンターについて					
◆管理運営等の状況 提案に基づいて指定管理業務を着実に実施するとともに、物販等の自主事業等を組みあわせて、利用者サービスの向上に努めた。施設開館27年が経過し施設の経年劣化が進んでいるが、利用者のより一層安全・安心で快適な利用環境の確保に努めた。秦野戸川公園との一体的な管理により、合同イベントの実施による利用促進、植物管理等、各種業務を相互に兼務することによる効率的・効果的な施設運営に努めた。					
◆利用状況 第四期指定管理業務3年目として、秦野戸川公園と連携したイベントや体験クライミングの実施等の利用者増加に向けた管理運営を実施した。クライミングウォール工事に伴う教室や大会等の中止または実施回数の減により利用者数は前年度を2,887人下回った。目標値の11,400人に対し、実績は9,707人となったためB評価とした。					
◆利用者の満足度 上半期（4～9月）と下半期（10～3月）の2回、宿泊利用者や教室等への参加者を対象に実施し、上位2段階の回答割合が100%となったため、S評価とした。アンケート対象となる宿泊者が少ないことから回収率は低いものの利用者にはご理解ご協力を得られた。					
◆収支状況 利用料金収入は、主な収入源である宿泊利用が前年度比3.8%増となった一方で工事によるクライミングウォールの利用休止などの影響で全体で計4,221千円（前年度比9.4%減）となり計画額（5,880千円）には至らなかった。そして、支出は主に人件費と館内清掃費の大幅な増により計画値より5,262千円増、収支差額約△6,885千円（収支比率73.41%）となったためC評価とした。					
◆苦情・要望等 職員による定期的な点検を踏まえた修繕を施すなど、適切な対応に努めた。					
◆事故・不祥事等 職員による施設の日常点検や、専門業者への委託による施設機器、スピードウォール等の保全に努めた結果、施設の管理不備が原因となる事故や怪我は発生していない。事務室エアコン故障が発生。					
◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。					
◆その他 施設運営について、今後も引き続き、経験の高い職員らを活用した競技の特性や危険性を踏まえた事故防止策を講じつつ、初心者向けのクライミング体験等の企画の更なる充実や各種学校・団体等への広報活動を工夫し、さらに宿泊施設としてのPR活動を行い利用されるよう情報発信し、利用者のすそ野の拡大とともに継続して利用してもらうための取組に努めてもらいたい。人件費や物価高騰などの外的な影響が大きい が、収支状況の改善を図っていただきたい。					

3. 3項目評価の結果

A	3項目評価 (施設別)		利用状況 (項目6参照)	利用者の 満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。  S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
	<参考> 秦野戸川公園	A	A	S	A	
	<参考> 山岳スポーツセンター	B	B	S	C	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実 施 頻 度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された報告書の内容と現地状況を確認した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実 施 頻 度	意見交換等の内容
	毎月実施	公園管理事務所で、月例報告や地元等の要望及び施設改修・修繕の課題や調整事項について意見交換を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
年間を通して花があふれる公園づくり	当公園の魅力であるチューリップ、アジサイ、ヒマワリ、サクラ、フジ、コスモス、ザルギクなど、年間を通した花景勝の演出により公園の魅力向上を図った。 また、1月は園内に花が少ないことから地元の幼稚園児やその家族に協力いただきロウバイの苗木の補植を行い花の見どころづくりに取り組んだ。	開花の最盛期に合わせたチューリップフェアなどのイベントの実施や年間を通した花修景の充実など、引き続き公園の魅力向上に努めることに期待したい。
都市近郊のアウトドア空間の魅力向上と健康増進・スポーツの振興	丹沢の雄大な景観や自然環境の中で、森林セラピー効果を感じられる青空ピラティス（参加者数30人）などのイベントを実施した。また、丹沢山麓の自然の中で、「学ぶ・作る・登る」をテーマに3施設合同（公園、山岳スポーツセンター、秦野ビジターセンター）イベントを実施した（参加者数10人）。	複数施設（公園、山岳スポーツセンター、秦野ビジターセンター、はだの丹沢クライミングパーク）での合同イベントの充実など、さらなる展開に期待したい。
広域利用の推進と地域振興の核になる施設づくり	・市や観光協会、自治会、ボランティア団体等で構成された公園利用運営会議を継続し、課題調整に努めた。 ・地域と連携して公園まつりを開催（参加者数4,500人）して、地域振興と公園の魅力を発信した。 ・秦野市を代表する大規模イベントの受け入れと運営サポートを行っている秦野丹沢まつり山開き式（参加者数7,400人）、丹沢ボッカ駅伝競走大会（参加者数500人）を実施した。	コロナ禍以前の公園まつり等のイベント開催状況に戻った。今後も地域との連携を図り、新東名高速道路の供用開始を受けて、さらなる広域利用、地域振興に努めることに期待したい。

効率的・効果的な管理運営	山岳スポーツセンターと管理スタッフの兼務による一体的管理、両施設が連携、協力したイベントを開催（参加者数10人）するなど利用サービスの向上を図った。	両施設が連携・協力したイベントの開催について、さらなる展開に期待したい。
--------------	--	--------------------------------------

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
茶室の管理運営	茶室「おおすみ山居」に茶道の資格を持つスタッフを配置し、抹茶や季節の主菓子等の提供を行い、利用促進に努めた。
バーベキュー場の管理運営	バーベキュー場では食材を提供する「手ぶらコース」を設け、手軽に利用しやすくするなど、引き続き、サービス向上に努めた。
キッチンカー	子どもの広場や川遊びゾーンではケータリングカーによる軽飲食の提供を行い、利用者の利便性の向上や滞在促進に努め、飲食を中心としたサービスの向上に努めた。

## 6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上　A：100%以上～110%未満　B：85%以上～100%未満　C：85%未満
A	

	前々年度	前年度	令和 6 年度
利用者数※	565,240	604,830	610,371
対前年度比		107.0%	100.9%
目 標 値	570,000	580,000	590,000
目標達成率	99.2%	104.3%	103.5%

目標値の設定根拠：

## 提案書記載の目標値

利用者数の算出方法（対象）： パークセンターセンサーによるカウント数より推計+茶室、バーベキュー等利用者数

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

**<備考>**

利用者数が目標達成率103.5%となったためA評価となった。対前年度比では、新型コロナウイルス感染症の5類移行後1年が経過し、コロナ禍前のチューリップフェアや公園まつりなどイベント等の実施に戻り、100.9%となった。

## 7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》
S	「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、年2回実施する詳細アンケート調査の結果を使用する。 上位二段階の割合（99.4％）は、前年度（98.4％）とほぼ変化なく、依然として満足度は高い。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法	利用者に直接配布	回収数／配布数	144	／	145	=	99.3%
-------------	----------	---------	-----	---	-----	---	-------

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	117	26	0	1	0	144	いつもゴミなどなく、とてもきれい
回答率	81.3%	18.1%	0.0%	0.7%	0.0%		
前年度の 回答数	100	20	0	1	1	122	
前年度回答率	82.0%	16.4%	0.0%	0.8%	0.8%		
回答率の 対前年度比	99%	110%	0%	85%	0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

**<備考>**

上位2段階の回答割合が99.4%となったためS評価となった。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	96,814	747	24,467	駐車場:22,558 自販機:1,909	122,028	122,028	0	
	決算	96,814	657	34,751	駐車場:31,349 自販機:3,402	132,222	128,331	3,891	103.03%
前年度	当初予算	96,893	747	24,513	駐車場:22,604 自販機:1,909	122,153	122,153	0	
	決算	96,893	622	31,036	駐車場:28,386 自販機:2,650	128,551	126,062	2,489	101.97%
令和6年度	当初予算	96,771	747	24,559	駐車場:22,650 自販機:1,909	122,077	122,077	0	
	決算	96,771	659	30,542	駐車場:28,568 自販機:1,974	127,972	126,467	1,505	101.19%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
令和6年度 /	前年度 /	前々年度 /	

＜備考＞ 人件費の高騰や、県のクーリングスポットに指定されたことで、エアコン使用料が増えたことに伴い、電気代の支出増が生じたが、駐車場収入の増5,918千円などもあって、全体収支比率は101.19%となったため、A評価となった。
---

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	2か月に1回程度	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	2か月に1回程度	県と指定管理者との間で意見交換を実施し、施設の管理運営上の課題等を情報共有した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方法等について	◎施設の設置目的及び山岳スポーツの拠点施設であることを把握して施設運営を行った。	引き続き山岳スポーツの拠点施設としての魅力向上に期待したい。
秦野戸川公園との一体的な管理運営について	◎秦野戸川公園内にある4施設（秦野戸川公園、秦野ビジターセンター、山岳スポーツセンター、はだのクライミングパーク）で利用促進、諸問題等の改善のため連携を図った。 ・三館合同イベント ・二館合同イベント（秦野VC）	引き続き秦野戸川公園との一体的管理による効果的な運営に努めるとともに、4施設との連携による利用促進にさらに努めていただきたい。
利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針について	◎利用者との積極的なコミュニケーションに努めた。 ◎利用者満足度アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めた。 ◎ゼロエミッション等環境に配慮した施設の維持管理に努めた。	引き続き環境への配慮や利用者ニーズの把握とともに、地元の小中学校など地域との連携拡充に繋がる取組に努めていただきたい。

スポーツ・競技振興について	<p>◎登山愛好者やクライミングウォール愛好者はもとより、全ての利用者に対してもきめ細かく対応し、スポーツの振興に努めた。</p> <p>◎神奈川県山岳連盟の協力を得て底辺拡大のイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・秦野丹沢まつり山開き 親子体験クライミング</li><li>・親子シャワークライミング</li><li>・山の日 in HADANO2024 チャレンジトラバース/登山初級者講習</li><li>・秦野戸川公園まつり チャレンジトラバース</li><li>・オリエンテーリング体験会</li><li>・第29回クライミングコンペオール神奈川2024</li><li>・第2回神奈川スピードクライミング競技会</li><li>・第38回県民登山</li><li>・リードクライミング教室</li><li>・スピードクライミング教室</li><li>・委託研修（指導者養成事業）</li><li>・登山教室</li><li>・冬山教室</li><li>・パラクライミングジャパンシリーズ第2戦</li><li>・県警山岳救助訓練6署</li><li>・JMSCA次世代アスリート育成・強化拠点としての練習会</li></ul> <p>◎メインウォールが使えない時期にはトラバースウォールを活用した、子ども向けのイベントを実施した。</p>	引き続きクライミング体験教室の開催等によるスポーツを楽しむ機会の拡大とともに、スピードクライミングやパラクライミング大会の開催など、本施設の特性を大いに生かした競技振興に資する取組みに努めていただきたい。
施設の維持管理について	<p>◎秦野戸川公園との一体的な管理運営により、清掃管理は委託し、常に清潔で快適な環境の維持に努めた。また、植物管理等については業務を相互に兼務するなど効率的な維持管理に努めた。</p> <p>◎電気設備点検、クライミングボード点検、害虫消毒等高度な技術や専門的な資格を要する業務については専門業者に委託し、適正な維持管理に努めた。</p>	引き続き秦野戸川公園との一体的管理による効果的な管理運営や、専門業者によるクライミング施設の有効な安全管理、感染防止対策や安全管理に努めていただきたい。
利用促進を図るためのサービス（接客、ニーズ、苦情の把握処理）の向上に関する取組	<p>◎利用者満足度調査を実施し、施設で対応可能な事項については速やかに対応した。</p> <p>◎利用者の声に耳を傾けつつホームページ、パンフレット、施設利用案内チラシで公正に説明し、利用者のご理解を頂きながら利用承認事務を行った。また、施設予約状況を小まめに更新し利用者の利便を図った。</p> <p>◎夏場の屋外クライミング施設への日除けや大型扇風機、ミストを設置することで熱中症対策に努めた。</p> <p>◎宿泊棟全室（和室・洋室）のカーテンを夏冬で交換し、利用者の快適利用を図った。</p>	引き続き樹木の剪定や館内清掃の徹底により利用者が気持ちよく利用できる施設を維持するとともに、熱中症対策をはじめ利用者からの要望にきめ細かく対応できていることにより、高い利用者満足を得られている。今後も、さまざまなツールや機会を捉えて利用者ニーズの把握に努め、サービスの向上に努めていただきたい。

事故防止等安全管理	◎事故防止、火災防止や犯罪発生防止のため、職員不在の夜間、休館日の機械警備委託を行い安全の確保に努めた。 ◎「事故防止点検マニュアル」により日常点検を実施して、事故防止に努めるとともに、利用者への利用開始前の事故防止の周知を行った。 ◎事故や災害発生時等の緊急時の体制及び初動対応に従い、適切な備えを行った。警報等発表時には施設内外を巡回した。 ◎消防訓練（年2回）を実施し、災害時には安心安全に避難・誘導・指示等適切な判断が行えるように努めた。	引き続き事故防止のための日常点検や利用者への働きかけを行うとともに、事故防止等安全管理に対する職員の意識の醸成強化を常に図り、安全管理体制のさらなる充実強化に努めていただきたい。
地域と連携した魅力ある施設づくり	◎登山者遭難救助連絡会で得た情報を登山愛好者や登山教室で伝え、安全な登山の一助に努めた。 ◎地域に精通している地域企業への優先発注のほか、地元非営利団体等への業務委託を行った。 ◎市内中学生3名による「職場体験学習」を受け入れ、それぞれ受付業務やリネンの準備体験を行った。	引き続き、地元企業や団体の活用などにより、楽しく安全な利用の向上や、山岳を含めた安全な地域づくり、地域連携による魅力ある施設づくりに努めていただきたい。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
利用者サービス向上のための物販等	自炊施設のため、食事機能の補完として、カップ麺の販売、バーベキューセットの貸出や、地元仕出し屋の斡旋などを行い好評を得た。 《実績》カップ麺57件 BBQセット17回

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上　A：100%以上～110%未満　B：85%以上～100%未満　C：85%未満
B	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	8,909	12,594	9,707
対前年度比		141.4%	77.1%
目標値	11,000	11,200	11,400
目標達成率	81.0%	112.4%	85.1%

目標値の設定根拠：平成29年度～31年度の平均利用者数 11千人  
11,000人から毎年200人ずつ目標値を増やしている

利用者数の算出方法（対象）：パークセンターセンサーによる宿泊利用、宿泊を伴わない休憩利用、研修室利用、屋外クライミングウォール利用者をカウント

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備考＞  
クライミングウォール工事（令和6年7月～令和7年2月）による利用休止が、利用者数の減に影響

## 7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》
S	「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う。

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年間２回（９月と翌年３月）	利用者の声を反映させた施設の維持管理が評価されたため、上位２項目の割合が合計100.0%と高い満足度を得ている。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか。

実施した調査の配布方法	窓口で宿泊利用者に直接配布	回収数／配布数	86	／	156	=	55.1%
-------------	---------------	---------	----	---	-----	---	-------

配布(サンプル)対象

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	69	17	0	0	86	◎満足 ・対応が親切丁寧 ・快適で居心地が良い ・清潔 ◎不満（要望） ・風呂なし ・アルコールの販売なし
回答率	80.2%	19.8%	0.0%	0.0%		
前年度の 回答数	112	43	0	0	171	
前年度回答率	65.5%	25.1%				
回答率の 対前年度比	122%	79%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

**<備考>**

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
C	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	14,542	6,700	0		21,242	21,242	0	
	決算	14,682	3,234	43	自販機電気代 43	17,959	19,503	-1,544	92.08%
前年度	当初予算	14,893	6,700	0		21,593	21,593	0	
	決算	15,078	4,661	34	自販機電気代 34	19,773	26,242	-6,469	75.35%
令和6年度	当初予算	14,751	5,880	0		20,631	20,631	0	
	決算	14,751	4,221	36	自販機電気代 36	19,008	25,893	-6,885	73.41%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数					(単位:千円)
令和6年度 /		前年度 /		前々年度 /	

＜備考＞ 人件費や物価高騰による外的な影響が大きい。また、減免適用の利用者が多いことから、利用者と利用料金収入が比例関係とならない面もある。
---

9. 苦情・要望等 ☒ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
7月18日	①事務室のエアコン故障 18時過ぎ宿直者がスイッチを入れたところ稼働せず ②翌日連絡 ③県庁舎からスポットエアコンを貸与 ④無 ⑤屋外のファンが稼働せず1996年製で修理不可。県が空調交換工事を実施 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。